

茨城県立水戸第三高等学校同窓会

# あおい会だより

第21号

発行所  
〒310-0011 水戸市三の丸2-7-27  
茨城県立水戸第三高等学校  
同窓会 あおい会  
TEL 029-224-2044  
FAX 029-225-4524  
HP: <http://www.mito3-hibk.ed.jp/>  
事務局 Eメール [aokai@mito3-hibk.ed.jp](mailto:aokai@mito3-hibk.ed.jp)  
印刷所 株式会社 きど印刷所



編集者

あおい会会長 加藤 正子(愛沼)

(昭34・芸)

青葉若葉が目に見える、清々しい季節となりました。あおい会会員の皆さまには、いかがお過ごしでしょうか。

今年も291名の、明るく元気な卒業生をお迎えすることが出来ました。お仲間がふえ、大変心強く思っております。

昨年度は、本校創立90周年記念、同窓会設立60周年記念の年でありました。

10月28日の記念式典は、校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆さま、そして地域の皆様方のいろいろな想いがひとつになり、また卒業生達の母校に対する愛情も加わり、在校生達の心に残る、忘れられない一日となったことでは、着いた時期に入っていることで



ご挨拶

学校長 森田 浩一

日頃より、あおい会会長加藤正子様をはじめ会員の皆様には、本校の教育振興のために、格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

また、昨年10月に実施しました創立90周年記念事業におきましては、あおい会様から、新田の校歌が刻まれた校歌碑並びに全校生徒にその録音CD、生徒活動費補助として支援金をいただきましたこと、深くお礼申し上げます。

お陰様でこの90周年記念事業も盛会に終了することができました。学校行事の、はじけるようなクラスマツチや、少し緊張してのぞんだ音楽祭などを……

私たち同窓生も、昔を懐かしんで、年一回の「あおい会同窓会」に集まって、在学時代の思い出に華を咲かせ、新しい母校への期待と関心に向けてみてはいかがでしょう。そして、学校周辺が素晴らしい歴史ロードに変化してまいりますので、ちよっと立ち寄ってみませんか。

こと、また、全職員及び生徒にとりましては、改めて本校の歴史を振り返ることができ、本校の伝統の素晴らしさを感じる事ができましたことをご報告いたします。

さて、本年度も本校、入学式において普通科240名(内男子2名)、家政科40名、音楽科28名(内男子4名)を新入生として迎え、総勢908名でスタートすることができました。特にここ数年、懸案であった音楽科の生徒数確保につきましては、30名の定員に近い人数となり、今後の明るい材料と

なつたところでありました。

また、本校の中期目標として、「進路希望が実現できる学力を身に付ける」、「有用な社会人としての自己実現を見据えた進路目標を設定する」、「水戸三高生らしさを自主的・協働的に継承・発展させる」、「学校行事や部活動等とおして健やかな心身と生きる力を培う」、「自らが生活圏とする地域に、積極的に貢献する」の5つを掲げました。

在校生は、7割以上が国公立大学や私立大学等を希望する一方、運動部や文化部の活動も活発で、不断の努力の積み重ね、関東大会や全国大会への出場を果たしております。また、「学び」「創り」「奏でる」の三科それぞれの特色を生かし、叶えたい夢の実現や21世紀を担う優秀な人材の育成に、生徒・教職員が力を合わせ「オール三高」として取り組んでおります。

今年度を創立100年に向けた第一歩と位置づけ、文武両道をモットーに、学習、学校行事、部活動へ積極的に取り組んでまいりますので、今後とも、より一層のご支援をよろしくお願いたします。

結びに、あおい会の益々の発展と会員皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



校歌碑

同窓会「あおい会」

総会報告

事務局・当番幹事 深澤 昌美(深澤)  
平3・家



平成28年度 あおい会総会・懇親会は、水戸駅からのアクセスがよいホテルレイクビュー水戸に於いて盛大に開催されました。当日は天気にも恵まれ、104名の会員および現旧職員の先生方にお集まりいただくことができました。

当番幹事の方々が水戸駅から会場まで途中の要所に立って誘導したり、受付で参加者の方々に笑顔で対応していたなど大変お世話になりました。

2016年同窓会  
あおい会・総会・懇親会

会場 ホテルレイクビュー水戸(6月12日、日)

会場に入ると、入野洋一副校長の計らいで水戸三高開校当時の貴重な写真の数々が私たちに山迎えてくれました。

水戸第三高等学校  
同窓会「あおい会」総会・懇親会



森田浩一 学校長

あおい会総会は、同窓会事務局長の岡本庸子先生、栗田晋子先生の進行、開会長の小川里恵さんの開会のことばではじまりました。加藤正子会長、森田浩一校長、来賓代表で岩瀬仁先生の挨拶があり、談事に入りました。議長には大信淑子さんが選出され、スムーズにすべての議事が可決され、役員、事務局紹介と続きました。入野洋一副校長より、飾られた写真や10月に行われた創立90周年記念事業についての説明がありました。その後益子治先生の音頭で乾杯し、美味しいお料理をいただきながらの歓談となりました。

余興は岡本先生の伴奏で3曲の歌が披露されました。1曲目は当番幹事のレクチャーで「見上げてごらん夜の星を」を手話で交えながら歌いました。2曲目は「学生時代」をかつての青春を思い出しながら、3曲目は「しあわせならてをたたこう」を元氣よく歌い、会場はたくさんさんのスマイルであふれました。



開校当時の貴重な写真の数々

最後に恒例である水戸市立高等学校と水戸第三高等学校二つの校歌斉唱をし、さらに山崎康史先生による応援エールで会場は大いに盛り上がりしました。

梅原恵さんの閉会のことばで幕を閉じ、会場のあちこちで、また来年もここで会いましょうと約束を交わしていました。



乾杯の音頭 益子治 先生



来賓 矢須きみ子 先生



応援エール 山崎康史 先生



余興の歌

## 恩師 特別寄稿

## 思い出と今と

笹木 克之(数学)



昭和32年4月、水戸三高に転任してきました。茨城大学を卒業してすぐ笠間高校に赴任し、そこで3年勤めた後のことです。

担当教科は数学ですが、英語の先生が病欠されたとき、英語の授業をしたこともあります。

クラブはテニスで、生徒は毎日放課後おそくまで熱心に練習をしました。石岡二高、大子高校などで他の高校と試合をしました。

関東大会で群馬県の高崎まで遠征したこともあります。

またJRC(青少年赤十字)の顧問もしていました。JRCの目的は青少年の健康、奉仕、親善で赤い羽根募金や施設の慰問などの奉仕活動をしたり、トレーニング

センターで討論会やゲーム、キャンプなどをしました。

× 団長が優秀で団員も力を合わせて活躍したので、三高のJRCは日赤の茨城県支部からも高い評価を受けました。

× 三高へ来た次の年に、わたしは芸術科新入生のクラス担任になりました。芸術科はあとで音楽科と改称されます。

× クラスの人数は29人なのですぐに名前や住所が覚えられ、生徒が親しく感じられました。朝のホームルームの時間に、その日と出席番号が同じ生徒に一言のコメントをしてもらいました。これで、皆大勢の前で意見を述べるようになるようになりました。

× 小方弘先生、吉水利子先生、秋山千賀子先生の厳しくも温かい指導のもと、ピアノや声楽をしっかりと勉強しました。昭和35年6月12日のわたしの日記には「茨城会館で行われた合唱祭で三高の音楽科の合唱が他の高校より優れていたのうれしかった」とあります。卒業後にピアノや声楽を教えている生徒も何人かおり、今年まだ現役の人がいます。

× 吉水先生には、わたしもピアノを習いましたが、生徒にはかきませんでした。

× 習うといえば、美術担当の朝倉連男先生には石膏のデッサンを、体育担当の川崎安之先生には弓道を習いました。ある元旦の早朝、矢が的にピンッと当たって気分爽快になった覚えがあります。

× 学校以外では、わたしはボーイスカウト水戸2隊の隊長をしていました。三高に来た年の夏、ボーイスカウト創立50周年記念大会がイギリスで開催されるというので夏休みを利用してその大会に参加しました。

× 当時はプロペラ機だったので、給油のためいくつもの国に寄りまわりました。ことばの通じない旅をしてロンドンに着いたら、本屋の看板にBOOKSと書いてあったので、ここでは英語が通じるんだとホッとしました。

× この大会に日本からは22人行きましたが、アメリカからは千人以上、全体で3万5千人が集まりました。大会にご臨席のエリザベス女王の若い姿も拝見しました。

× ×

× 数学の授業で問題集を使っているうち、わたしも問題集を作ったくなって、5年間お世話になった水戸三高を辞し、東京の学習図書出版社に入りました。その後独立して編集プロダクションを設立しました。各出版社の原稿の校閲や校正、数学の問題集の執筆などをしました。

× 小学生用の原稿を頼まれたとき「ある組の女生徒の人数は男生徒の人数より1人多い。この組全体の人数は偶数ですが奇数ですか」と書いたら、こんな解けない問題を作るな、としかられませんでした。

× ところがこれは解けるのです。答えは奇数です。仕事は年々増えてきて、土曜、日曜も休めないほど忙しい日が続きました。

× そうこうするうち30年がたち、古希も過ぎたので、編集の仕事から手を引きました。

× それまで家事一切を仕切ってくれた妻は、今から8年前に亡くなりました。氣立ての優しい話好きの妻でした。

× 今わたしは85歳です。読み残した本が山ほどあるので、生きてい

るうちに一冊でも多く読もうと、自宅や図書館で読書に専念しています。辞書を片手に英語の本にも挑戦しています。

× たまには近所の石神井公園の池のほとりを散歩しながら三高時代の思い出にふけています。



# 同窓会あおい会 60周年記念事業

## 校歌歌碑の建立

創立90周年、同窓会60周年に合わせて歌碑をつくり校庭に設置しました。市立高等女学校校歌と県立水戸三高の校歌を合わせて彫られています。伝統文化の継承として、ふさわしく、このような石碑は他校には無いと自慢です。先輩後輩の絆を強くし、母校への愛着を一層深める記念碑となることを祈念します。除幕式は10月25日に行われました。テントを張って小雨の中、在校生が新旧の校歌を碑の前で歌って下さり、学校長から感謝と御礼のお言葉をいただきました。



## 会員名簿

創立90周年記念  
同窓会あおい会 会員名簿  
2013年5月30日発行  
出版k k サラト  
416ページ



## 祝金

同窓会から100万円  
創立90年節目の年、生徒の部活動や進学援助、その他、多目的に対応できる支援金を贈呈しました。

年記念 -2016-  
い会60周年記念

## 市立高等女学校 校歌

- 5 歌 (ピアノ伴奏)
- 6 ピアノ伴奏
- 7 練習用  
(範唱・ピアノ伴奏)

市立高等女学校同窓会

## CD企画・制作

### 新旧の校歌を後世に残そう

3年前からの懸案だった校歌のCD作成の件が平成15年12月、常任幹事会で審議され、90周年記念事業の一つとすることが決定しました。ちょうど同窓会の発足60周年でもあり、旧市立高等女学校の校歌も後世に残そうと、早速実行委員会が設置されました。委員には常任幹事の中

から音楽科出身の加藤正子、宮田満里子、吉成隆一、軍司史代の4名が選出されました。「科や部に関係なく、皆で校歌を歌おう」の呼びかけに応じて集まってくれた卒業生有志の合唱団員は、昭和28年の卒業生から、平成17年の卒業生まで、約50人が集まって下さり、親睦を深めながら、充実した練習ができました。実行委員を喜ばせてくれました。

校歌の練習会は水戸市内のサンアビリティーズ音楽室を利用、1月から3月末まで5回、短期間で集中した練習を重ねました。

最後の総仕上げ練習と録音は、久々ぶりの母校音楽室に集合し、嬉しさ一杯の歌声が響き渡りました。この日の録音は、東京の専門業者を依頼し、音楽室に機材を持ち込んでもらい校歌を録音し、良質な音盤を作ることが出来ました。



美しいジャケット付きのCDは2000枚制作。完成品は在校生に、記念式典に招待された来賓に、あおい会総会参加者に配付されました。また、平成29年度新入生全員に入学祝いとして校歌のCDをプレゼントしました。

ピアノを担当された秋葉桃子さん(平17年卒・音)、ジャケットのデザインを担当された七字純子さん(昭60年卒・音)、合唱に駆けつけて下さった多くの卒業生の皆さん、そして現役のコラス部と吹奏楽部、関係者の皆さんに感謝です。お陰様で水戸三高同窓会による手作りのCDが立派に完成しました。



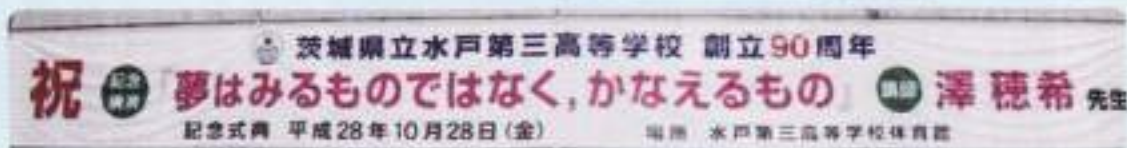
# 創立90周年記念式典・記念講演

## 創立90周年記念式典

平成28年10月28日 水戸三高創立90周年記念式典が本校の体育館で盛大に執り行われました。県教育長・水戸市長をはじめ、多数の来賓の方々のご列席があり、全校生徒約1,000人の参加者および教職員は、伝統の誇りと重みをかみしめる1日となりました。あおい会からも会長・副会長・常任幹事が列席し、喜びを共にしました。



## 記念講演



「夢は見るものではなく、かなえるもの」 - 澤 穂希さんがエール -



式典に続いて記念講演がありました。元サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」の澤穂希さんがご自身の体験をもとに、高校生に向けて何が大切なのかを話してくれました。

講演の後、生徒から次々と飛び出す質問に、「かえって元気をもらった」と笑顔をみせていました。



創立90周年  
同窓会あおい会

## 水戸第三高等学校 校歌

- 1 歌 (ピアノ伴奏)
- 2 ピアノ伴奏
- 3 練習用  
(範唱・ピアノ伴奏)
- 4 吹奏楽演奏

茨城県立水戸第三



平11・音 小林 佳美 (旧姓 石川)

高校の恩師である宮田先生に「90周年に校歌のCDを作ろう」と話していただき、後世に残るものに参加できる喜びと重みも感じました。練習では、様々な年代の卒業生と共に歌うことができ、校歌で繋がる絆に、えも言われぬ嬉しさの中、楽しく参加することができました。また、市立高等女学校時代の校歌にも挑戦することができ、歌詞の意味等を勉強しながら取り組めたこと嬉しく思います。日々の忙しさの中、何度も歌った懐かしい旋律と歌詞は、当時の気持ちや思い出をたくさん思い出させてくれました。CDの完成、おめでとうございます。CD制作にお誘いいただき、ありがとうございました。



CD制作に参加して

平17・音 伴奏者 秋葉 桃子

校歌の伴奏は、在学中に集会などで演奏していたので、楽譜を改めて受け取った時、懐かしく感じました。参加者は、友人に加えて、SNSも活用して呼びかけ、部活や音楽科の先輩とも再会することができました。その中には、都内や県外から、赤ちゃんと、仕事を休んでの参加者もあり、母校への想いを共感しました。練習では色々な工夫がなされ、日本歌曲なども歌いながら、みんなの心と声が一つになっていきました。家政科の卒業生や80代の方も参加しており、すべての学科、幅広い年代の方々とは貴重な経験となりました。私を含め参加者は皆、プロではなく音楽愛好家でした。そのため、音楽(声)を揃えることはとても難しいことでした。しかし、「母校のために」という気持ちは揃っていたので、なんとか完成までたどり着く事ができたと実感しています。CD制作に携わってくださった、すべての方に感謝しています。伴奏は完璧とは言えない演奏ですが、ぜひこのCDを活用して、卒業後も校歌を大切に頂ければ幸いです。ありがとうございました。

## クラス会だより

今後に活かそう

楽しさ・懐かしさ・感激を

昭・36・音

参加者全員の声

平成28年6月水戸エクセルにある中国料理店で還暦後8回目のクラス会を開催。

今回は、幹事の計らいで、卒業後初めて、東京より担任の先生をお呼びしてです。皆楽しみに胸をわくわくさせ、55年ぶりを待ちわびました。

私達は、昭和33年芸術科入学36年音楽科卒業の74歳です。科の名称が変更され、第1回卒業です。

3年間の担任は、数学担当の笹木克之先生です。私達が巣立った後、1年間三高に在職され、東京の出版会社に転職されました。

今年で85歳。背の高い先生、体型などお変わりなく、健康でステキに年を重ねていらっしやいました。2月頃より体調に気づかれ、楽しみに待っていてくださ

いました。

自己紹介を始めようとした所、私達の入学時の写真をご用意くださり、一人一人を認識されました。「高校時代はこうだったけど、こうだね」と高校時代の特徴も記憶され、心の内まで見透かされました。また、自ら座席を移動され、誰にも言葉かけくさしました。逝去された2名の友にも触れ感謝でいっぱいでした。先生の種々の心遣いに感激し、自分の名前を言

## クラス会再開

昭・45・音

岩崎 京子(加藤木)

「こんにちはー」「お元気でしたア?」「お久しぶりー」と、賑やかな声がお寿司やさんの駐車場に響きます。

マイカーで次々と乗りつける友、迎える友、遠方からの友を駅から乗せてくる友、実家に寄りながら参加の友。

クラス会再開から6年、六度目。おなじみのメンバーに加え、今回

その写真のお陰で、転校した友がいたこと、ピアノがない人が多く早朝から登校し練習したこと、365日学校へ通った感じだったこと、キャンプに行ったこと等々思い出されました。

現在の先生の生活の様子なども伺い、話に満開の花が咲きました。

お帰りの時「今までで一番楽しかった」とおっしゃってくださいました。写真は大きめにしてお送り致しました。先生いわく「自分が老けてとれている」先生!私達の方がずっと老けてます。

先生ありがとうございます。

初参加の友に皆から温かい拍手。

再開のきっかけは、6年前、手にした当番幹事の葉書でした。いつもですと、即却下(すみません)しかし、この時は何か私の背中を押ししたような、即欠席届けを提出した友人を無理やり誘い、三萬の門をくぐりました。

40年振りの母校は懐かしく敗しかったです。くぐった門の先には可愛いセーラー服の女子高生。和やかな会議を終え、当番幹事ということもあり、あおい会への参加をお誘いしますと、なんと当日はひとつのテーブルを囲む人数が揃いました。感激でした!

そこで飛び出した声「ねえ、クラス会は何?」その後、二の足を踏む旧幹事を説き伏せ、クラス会再開の運びとなりました。名簿作り、電話連絡等奔走する友。

その甲斐あり、参加者の中が広がり、クラス会の合間に筑波山登り企画やファイバーアート作家として活躍する友の個展へ、自然と集合する仲間達。

ここまでの人生様々な経てのクラス会再開です。親ごさんを見送り改めて我が人生に前進する友、第一級を過ぎ地域活動、ボランティア

アに励む友、ご主人と食事・旅行を楽しむ友、おばあちゃんとして家族を見守る友、苦境乗り越え実業家として出発した友、山登りに挑戦する友、まだまだ現役で仕事を頑張る友、健康を追究する友、食事をしながら近況報告に耳を傾け、傾いたり温かな視線を送る仲間達。今年も素敵なクラス会が始まり、そしてまた来年ね...

いつまでも気軽に飾り気なく参加出来るクラス会。

思い起こせば、このクラス会の在り方は担任の後藤彰彦先生のモットーであったような気がいたします。これからも元気に集まれることを願います。



筆者は前列左端

# ときのひと

作品制作

昭・45・篇  
高松 恵子(大崎)



私は、子育ての傍ら、35年間、主にドレス等の縫製

をしてまいりました。

ウェディングドレス、パーティードレス等の、華やかなドレス縫製は出来上がった時の喜びは、素晴らしいものです。

そして、苦勞の多い、難しいドレスほど、その感激は、ひとしおです。その間は、風の様に過ぎた月日だった気がいたします。

15年前、50歳を迎えた時、他人のデザインしたものを、縫うだ



【希望】



【母から子へ】

けでは飽きたらなくなりまして。あえて、このお仕事で培った技術にこだわり、自己表現をしたくなりました。

おもいきって、新作展スペースデザイン部門の公募展に応募致



しました。

お陰様で、以後15回入選させていただき、新作家賞2回のあと、今年15年目で、会員推挙していただきました。

私には、長年のお仕事で取得したミシンステッチ等の技術しかありません。

あえて、この事に拘り、オリジ

今に繋がる三高での時間

昭60・篇  
田寺 尚子(大内)

高校の合格発表の日を今でも鮮明に思い出せる程、水戸第三高等学校への憧れがありました。母の母校でもあり、隣の水戸一高には当時兄が通っており、中学生の頃から入学を夢見ていました。

念願叶ってロマンズ坂を登り毎

ナル作品の制作をしてまいりました。

あと、何年、制作できるか解りませんが、心を、ワクワク浮き立たせ、制作していきたいと思っております。

そして、常に継続は力なり、と心に言い聞かせ、制作を続けていくつもりです。



日通う時間の中に沢山の出会いがあり、「人」に恵まれた楽しく穏やかな思い出が溢ります。三高での3年間に現在の人間形成に大きな影響を与えた大変濃い時間でした。

部活動はダンス部に入部し、大和田先生のご指導のもと心身共に柔軟に育成して頂き、3年生では部長も経験し仲間と一つの事をやり遂げる達成感や表現する事の喜びは感じられた現在の仕事に大きく活かされています。

高校卒業後、東京での学生生活をを経て都内で大学病院の秘書課に就職しましたが、精神的に悩み家族や友人に相談する事が多い時代でした。とうとう、社会人一年目でメニエール症候群になり家族に心配を掛けてしまいました。時を経て茨城に戻り26歳で結婚。その後出産し幸せな日々を送りますが、元々活発なタイプの私は、「何」

がこの頃の口癖でした

子育てもアクティブにサークル活動にも参加する時間の中、ある事がきっかけで週一回のアナウンスクールに通う事にしました。実は、この機会が今後の大きな変化につながりました。アナウンスクール卒業後にFMはるるんのパーソナリティとして活動がスタートし、「なおりん」の愛称で15年間ラジオを通して多くの経験が出来ました。15年の間に、披露

宴司会は1200組を超え、他にもタレントの梨花さんや歌手のイルカさんとトークショーの経験や沢山の著名人と会う機会にも恵まれました。

伝える仕事と10年並行して続けて来た研修事業や心理学の学びを活かし4年前に株式会社ニューマン・ブレンドを創業。現在、春は東京都庁をはじめ地元中小企業の新人研修、大手百貨店の覆面調査、人事コンサルティングとして活動しています。三高時代の仲間には現在も支えられています。高校時代にも活動して感じられた表現力と社会人として悩み越えて来た陽転思考

を今後の未来につなげていきます。



# 学校の状況

## 平成28年度進路状況

今年度は茨城大学において大きな学科改編がありました。理系の学部は増えましたが、文系・教育学部系の定員が減るなど、本校生にとっては非常に厳しい状況となりましたが、生徒たちはよく健闘してくれました。茨城大学合格者は推薦を含め22名、今年度は追加合格者も2名でした。国公立大は県立医療大、福島大、宇都宮大、埼玉立大と関東近県の大学に合格者が多いのが特徴です。私立大学においても、青山学院大、立教大、法政大などの難関大学に多数合格しています。

短期大学への進学者は、ほとんどが幼児教育系で占め、専門学校は看護・医療系への進学者が年々増加してきています。

政株会社、そして26年ぶりに常陽銀行の採用があるなど、雇用情勢は回復基調にあります。

### 【国公立大】

茨城・茨城県立医療・宇都宮・東京藝術・福島・国立看護大学

### 【私立四大】

青山学院・立教・津田塾・学習院・法政・中央・東洋・専修・獨協・明治学院・常磐・茨城キリスト他

### 【短大】

国学院大学桐木・杉野服飾・常磐・日本歯科大東京

### 【専門学校】

校の看護・県立つくば看護・県立中央看護・土浦協同病院看護他

### 【就職】

常陽銀行・日本郵便・ヤマト運輸・大洗町職員・常陸大宮市職員他

28年度卒業生の進路内訳

国公立大学	31
私立大学	165
短期大学	19
専門学校等	62
就 職	6
進学・就職準備	8

## 2018年 水戸三高同窓会「あおい会」 総会・懇親会のお知らせ

日 時 平成30年7月1日(日)  
 受付 11:00～  
 総会 11:30～12:00  
 懇親会 12:00～14:00  
 会場 ホテルレイクビュー水戸  
 電話 029(224)2727  
 水戸市宮町1-6-1  
 会費 6,000円



クラス幹事から「同窓会のお知らせ」が届く事になって

います。参加ご希望の方は、6月11日(月)までにクラス幹事を通してお申込み下さい。同窓会参加について詳しく知りたい方は、事務局へ問い合わせるか、又は「水戸三高ホームページ」あおい会事務局専用メールアドレスをご覧下さい。

※注意※ 参加申し込み後、都合で出席できなくなった場合は、必ず6月22日(金)までに事務局へご連絡下さい。(連絡なく当日欠席の場合は会費をご送金いただくこととなります。)

今回の同窓会運営、進行に当るクラス幹事は下記の学年です。昭和43年、48、53、58、63、平成5年、10、15、3月の卒業生です。

### 水戸三高同窓会あおい会事務局

TEL 029-224-2044 FAX 029-225-4524  
 ホームページ <http://www.mito3-h.ibk.ed.jp/>  
 事務局専用メールアドレス [aokai@mito3-h.ibk.ed.jp](mailto:aokai@mito3-h.ibk.ed.jp)

●校歌のCD・同窓会あおい会「会員名簿」のご注文及び名簿内容の変更依頼(住所やクラス幹事等)は、必ずFAX又はメールで事務局までご連絡下さい。

### 校内事務局員の先生方

栗田(照沼) 誉子(英語科) 岡本(富田) 庸子(音楽科)  
 深澤(深澤) 昌美(家政科)

## 同窓会あおい会

### クラス幹事

M	K	6	5	4	3	2	1	組	氏名	氏名
小松崎風歌	鈴木南菜子	大和田あかり	船越 美玖	城戸 綾佳	河野 遥南	伊藤 晶	岩佐 千秋	組	氏名	氏名
宮水さつき	中島日和理	根崎 史歩	久光 晴	三浦 祐希	森 亜由美	羽石 睦美	永山 愛莉	組	氏名	氏名

幹事員291名

### 平成29年3月(編出)の先生方

- 副校長 入野 洋一先生(水戸商業高)
- 教諭 藤引 一夫先生(水戸商業高)
- 石川 富雄先生(水戸三高)
- 鴨川 充先生(編出)
- 教頭 五田 輝夫先生(水戸一高)
- 教諭 根本雄一郎先生(佐和島)
- 服部 幸子先生(笠間高)
- 宮田 登子先生(那珂湊高)
- 久野真紀子先生(取手二高)
- 佐藤奈津子先生(精国工業高)
- 飛田 智子先生(藤田一高)
- 大内 祐輔先生(藤田高)
- 鈴木 一美先生(東海高)
- 水戸 明良先生(藤岡高)
- 椎名 保正先生(緑岡高)
- 瀬野 友宏先生(大子清遠高)
- 松尾 浩希先生(志保北高)
- 田中 益子先生(水戸商業高)
- 有美先生(水戸商業高)

### 編集後記

昨年度は母校創立90周年、同窓会あおい会設立60周年という記念すべき節目の年となりました。本紙面も増ページし、特集を組みました。快くご寄稿下さった皆様に深く感謝致します。お陰様で皆様の沢山の声を掲載することができました。

稀勢の里、ひよっこで、茨城が広がり、タモリ、鶴瓶の水戸訪問で母校周辺に新しい風が吹き始めた平成29年、同窓会もまた新しい目標に向かって絆を深めていきたいとは編集者一同の願いです。

- 編集委員 宮田満里子 吉成隆一  
 小貫早苗 譜星恭子  
 宮田桜子 深澤日美